

2021

発行日 毎月1日 通算発行 419号

3



協会報



今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会の開催

新型コロナウイルス感染防止アクション宣言

最近の完成工事から

一般国道305号 大聖寺錦拡幅の完成

石川県土木部道路建設課



《石川の工芸シリーズ③》

小松市立本陣記念美術館蔵

砂張三像花入

初代 魚住 為楽

【明治19(1886)年—昭和39(1964)年】

制作年／昭和19(1944)年 サイズ／径12.5×高さ24.2cm 技法／鑄金
初代為楽は、砂張（銅と錫の合金）鑄物を独学で研究し、銅鑄づくりの名人と呼ばれている。昭和30（1955）年「銅鑄」部門で重要無形文化財保持者に認定された。本作は銅から下の部分に三頭の像（象）の頭をかたどった造形のある花入れ。継ぎ目が無い見事な出来映えである。近代の数寄者、益田鈍翁が所蔵していた織田有楽斎所持の三像花入を、初代為楽が模して作った5つのうちの一つである。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人 **石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2021

3



《石川の工芸シリーズ③》
さばりさん そうはいれ
砂張三像花入
初代 魚住 為楽(うおずみ いらく)

1 今月のトピックス	
北陸地方整備局との意見交換会の開催	2
新型コロナウイルス感染防止アクション宣言	3
2 最近の完成工事から	
一般国道305号 大聖寺錦拡幅の完成	
石川県土木部道路建設課	4
3 令和2年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.5	
池田建設工業株式会社	6
令和2年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.6	
株式会社ヨネミツ	8
4 雇用改善コーナー	
工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施	10
情報共有システム学習会の開催	10
5 地区協会コーナー	
森林公園を散策し、健康増進をはかりましょう	
河北都市土建協同組合	11
6 会員リレーコーナー	
東建設株式会社	12
7 今月の「輝き！」さん No.72	
株式会社犀川組 末田 連さん	13
8 協会だより	
常任理事会の開催	14
委員会の開催	15
土木委員会	
金沢河川国道事務所との意見交換会の開催	15
建築委員会	
第1回技術部会の開催	16
土地改良委員会	
県農林水産部との意見交換会の開催	17
広報・研修委員会	
企画部会の開催	17
9 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
令和2年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
「今後の建設業」 株式会社吉光組 西出 輝	18
10 業界時報	
労働災害発生状況	19
令和2年度 建設工事受注高調（元請）	19
11 会員の異動	20
12 県協会からのお知らせ	20
13 地区協会からのお知らせ	21

◆ 今月のトピックス ◆

北陸地方整備局との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、2月16日（火）午後1時から、ANAクラウンプラザホテル金沢において、北陸地方整備局との意見交換会を開催した。北陸地方整備局からは、岡村次郎局長、中野穰治企画部長、佐藤英明建政部長、平田哲人営繕部長他8名の幹部が出席し、当協会からは、平櫻会長以下役員22名が出席した。

冒頭、岡村局長が、「国の防災・減災、国土強靱化5か年加速化計画ができ、国土交通省における今後5年間の予算確保の道筋も見えてきた。皆様のご協力をいただきながらしっかりと予算執行に努めて

いきたい。また、新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、建設業界におけるデジタル・トランスフォーメーションや週休2日の実現などの課題にも取り組んでいきたい」と挨拶。続いて、平櫻会長が、「コロナ禍が収束しない中、防災・減災、国土強靱化5か年加速化計画及び今年度補正予算、来年度当初予算案において我々が期待していた以上の予算を組んでいただき、特に石川県に手厚く予算を割いていただいたことに感謝申し上げる。働き方改革や生産性向上に今以上に取り組み、魅力ある建設業界づくりに努めたい」と挨拶した。

意見交換では、山岸 勇専務理事が、公共事業予算の継続的・安定的な確保、防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進、地元建設業者の受注機会の確保など提案議題7項目について趣旨説明・要望を行った。北陸地方整備局からは、地元企業の参入機会の確保・拡大を図るため様々な制度の活用を進めていることなど、各項目について丁寧な回答をいただいた。

〈提案議題〉

1. 公共事業予算の継続的・安定的な確保
2. 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
3. 地元建設業者の受注機会の確保
4. 改正担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
 - (1) 低入札価格調査基準の見直し
 - (2) 特例監理技術者制度の見直し
 - (3) 余裕期間制度を活用した対象工事の拡大
 - (4) 発注・施工時期の平準化と適切な工期設定
5. 週休2日制導入に向けた環境整備
6. 工事書類の簡素化・合理化と検査の効率化
7. 円滑な災害活動をするための体制づくりと災害補償



意見交換会会場



岡村次郎
北陸地方整備局長



平櫻 保 会長

新型コロナウイルス感染防止アクション宣言

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、2月12日（金）、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の周知徹底と医療従事者への応援のため、建設青年委員会（委員長 北川隆明）が中心となり、「新型コロナウイルス感染防止アクション宣言」を行った。

宣言式には、平櫻会長、北川委員長、森高靖子女性部会長、石川容子副部会長らが出席し、建設青年委員会のメンバーや女性部会員らがリモートで参加した。

平櫻会長は、「企業の立場から、何か医療へのお手伝い、貢献ができないか模索していたが、北川委員長から『感染者を出さないことが一番の協力ではないか』という意見を伺い、今一度、感染防止を徹底し会員企業の社員とその家族、取引先など、関係するすべての人から感染者を出さないという決意のもと、能登から加賀までのネットワークを活用し、協会が一丸となった取り組みを表明させていただくことにした」と挨拶した。

続いて北川委員長が、3密の回避、徹底した感染防止対策、毎日の体調管理、接触確認アプリ COCOA の登録の4項目を取り組みの柱とした感染防止アクション宣言を読み上げた。

協会では、宣言を周知するために作成したポスターやステッカーを会員企業に配布し対策の徹底を呼び掛けた。

同日午後からは、北川委員長、森高女性部会長、石川副部会長らが石川県看護協会を訪れ、日々コロナ患者の受け入れや治療に尽力されている医療従事者の方々に感謝と応援の気持ちを込め、女性部会員が手



リモートで宣言を行う北川建設青年委員長、森高女性部会長（右）、石川副部会長（左）

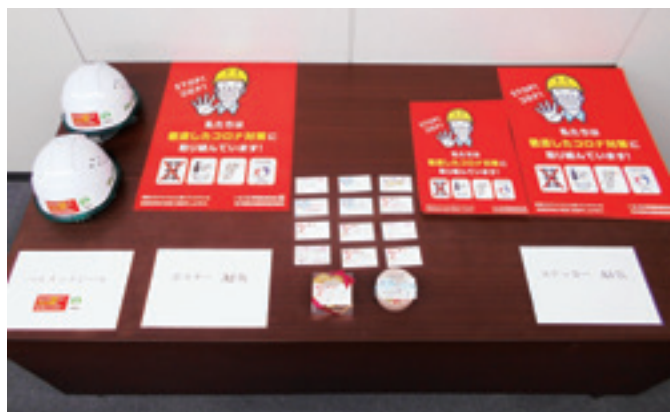


石川県看護協会でのチョコレート贈呈

書きしたメッセージカードを添えたチョコレート約1,000個を贈った。

石川県看護協会の小藤幹恵会長からは、「皆さんの心に染み入るプレゼントに感謝したい」とお礼の言葉をいただいた。

チョコレートは、県看護協会の他、軽症者向け宿泊医療施設、コロナ対応病床がある県内24の病院に、各地区の建設青年委員及び女性部会員が手分けして届けた。後日、各病院から心温まるお礼の手紙をいただいた。



宣言周知のため作成したポスター、ステッカー等

最近の完成工事から

一般国道305号 大聖寺錦拡幅の完成

石川県土木部道路建設課

1. はじめに

一般国道305号は、加賀地域の生活・産業・観光等を支える幹線道路であるとともに、加賀市大聖寺の市街地を東西に連絡し、地域住民の生活道路としても利用される重要な道路です。

当該道路周辺には、大聖寺駅や加賀市役所、小・中学校などが立地することから、歩行者が多く、通学路にも指定されていますが、現道は路肩や歩道が狭く、地元から安全に通行できる道路整備が求められていました。

このため、大聖寺関町から大聖寺三ツ町間1.2kmを「大聖寺錦拡幅」として、平成20年度から道路を拡幅する事業に着手し、平成23年には大聖寺市街地側の0.4km（Ⅰ期区間）が供用しました。残る福井側の0.8km（Ⅱ期区間）についても、引き続き整備を進め、令和2年11月に供用し、全線が完成しました。



図-1 位置図

2. 事業概要

路線名：一般国道305号（大聖寺錦拡幅）

事業箇所：加賀市大聖寺関町～大聖寺三ツ町 地内

延長：L=1.2km

道路規格：第3種第2級

幅員：W=6.5（10.5）m



図-2 標準断面図

3. 事業の効果

当事業の整備により、十分な歩行空間が確保されることから、通学児童等の歩行者の安全・安心が図られます。(写真-1、写真-2)

また、車道幅員の拡幅や急カーブ区間の解消により、走行性が向上され、加賀市役所や大聖寺駅など、大聖寺の中心市街地へアクセスしやすくなります。



写真-1 整備前の状況



写真-2 整備後の状況

4. 道路周辺について

当該区間の道路沿線（北側）には、大聖寺城跡があり、現在は錦城山公園として利用され、加賀市の市指定文化財（史跡）にも指定されています。(写真-3)

また、道路周辺には、大聖寺ふれあい広場古九谷の杜に隣接する石川県九谷焼美術館があるなど、観光施設も立地しており、各施設へのアクセス性が向上します。



写真-3 大聖寺城跡（錦城山公園）

5. おわりに

大聖寺錦拡幅の完成により、当該区間における交通事故の抑制が期待され、地域の皆様の安全・安心の確保につながるほか、加賀温泉郷と加賀地域、福井県のアクセス向上による観光支援など、地域の活性化に寄与するものと考えております。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げます。



写真-4 大聖寺錦拡幅完成後の状況



写真-5 大聖寺錦拡幅完成後の状況

令和2年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.5

施工企業名：池田建設工業株式会社

■工 事 名 二級河川米町川 広域河川改修工事
(築堤8工区)

■工 事 分 野 河川工事

■施 工 場 所 羽咋郡志賀町北吉田 地内

■工 事 概 要

施工延長L=100.0m (左岸：No.3690～No.3790)

護岸工A=633㎡

■工 期 平成31年4月1日～令和元年9月20日

■推 薦 理 由

本工事はICT施工に取り組んだ工事であり、ICT建設機械の自動制御技術を用いた掘削による施工管理の向上、3次元データを用いた出来形管理による品質の向上を図り、工期限内に安全に工事を実施した。

また、周囲の人家に配慮した騒音・振動対策や、より現場の具体的なイメージを想定できるよう3Dデータを用いた安全教育等の創意工夫、除草等の河川愛護活動による地域貢献にも積極的に取り組んだ。



着工前写真（真上）①



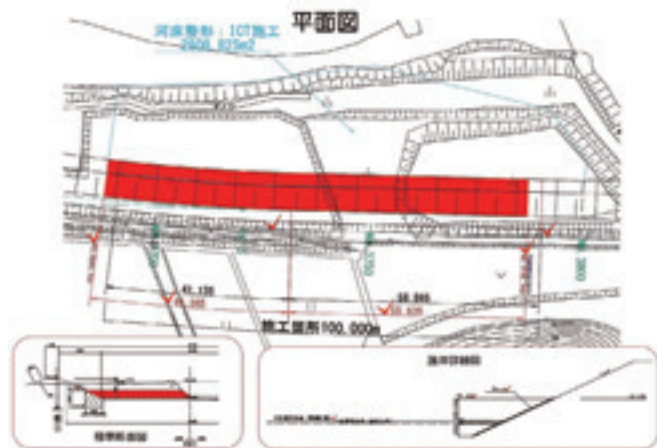
着工前写真（真上）②



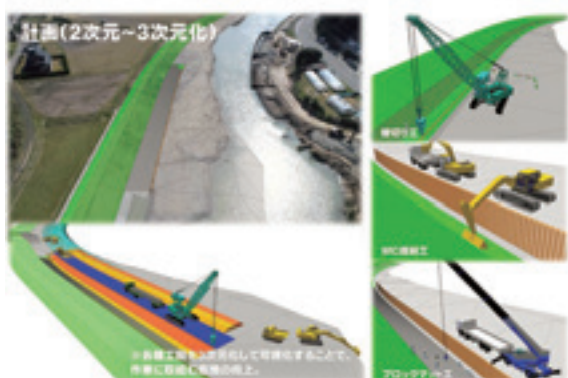
完成写真（真上）①



完成写真（真上）②



平面図他



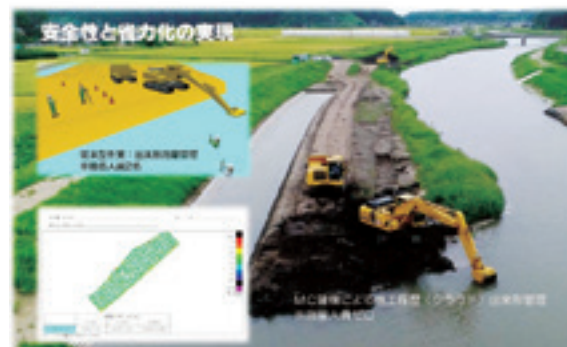
説明文1：2次元図面を3次元化し、各種工程を可視化することで作業従事者の作業に取組む意識の向上につながった



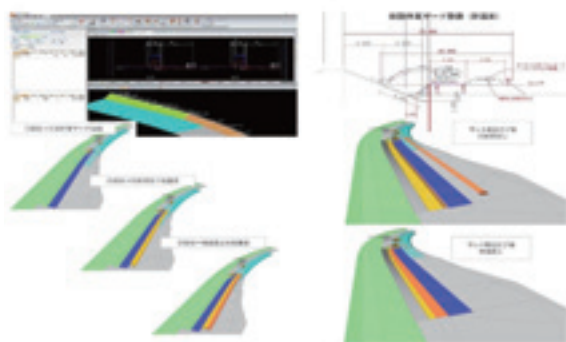
説明文2：堤防掘削 MC施工状況及びTS・LSによる出来形管理の実施



説明文3：水中掘削時、インターネット経由で施工履歴データをクラウドで保管、施工履歴による出来形管理に反映。施工状況もリアルタイムで監視・確認



説明文4：説明文3について出来形測量の安全性と省力化



説明文5：現場作業手順の確認で、3D化した状況図で作業従事者に周知。

■現場代理人のコメント



現場代理人
竹倉英樹氏

この度は、栄誉ある優良建設工事知事表彰を賜り、中能登土木総合事務所をはじめ、地元の皆様ならびに工事関係者の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

本工事は、当初はICT施工（発注者指定Ⅱ型）の対象工事で、掘削・法面工をMC建設機械を用いて施工する計画でした。

そこで、これまでに経験したICT施工の数多くの実績と自社で保有する機器を利用する事で、対象工事の全てをICT施工で実施可能と判断し、発注担当者へ提案・協議によりICT施工を全面的に活用する工事としました。

出来形管理に関しては初めての試みでしたので、ICT施工管理基準等を理解しデータ処理の手順等に苦労をしましたが、協力業者との連携・対応及び新技術の取組みにより、発注者からも高評価を頂きました。今後はICT施工に積極的に取組み、建設業界を担う若手の育成と施工管理・技術の向上につながるよう、日々精進していく所存です。

令和2年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.6

施工企業名：株式会社ヨネミツ

■工 事 名 令和元年度 県営かんがい排水事業
中村用水第2三期地区 水路工事

■施 工 場 所 白山市徳丸町、幸明町、三浦町地内

■工 事 概 要

水路工 L=136.8m

(内訳) 大型フリューム(H1200×B2200) L=46.7m

落差工 L=20.1m

底打ちコンクリート L=64.5m

取付工 L=5.5m

■工 期 令和元年8月29日～令和2年3月10日

■推 薦 理 由

(工事の環境)

本工事は、白山市の水田を潤す七ヶ用水（中村用水3-5号支線）の改修工事である。

施工箇所は国道8号及び商業施設に隣接していることに加え、商業施設の敷地内での施工となるため、工事期間中の安全対策を徹底する必要があった。また、現場打ち構造物である落差工を築造する区間についても、商業施設に近接することから、建物等へ影響が無いように配慮する必要があった。

(工事の難易)

現場打ち構造物の施工に際して、施設が近接していることから掘削法面の養生はモルタル吹付を行い、施設への影響を大幅に軽減した。

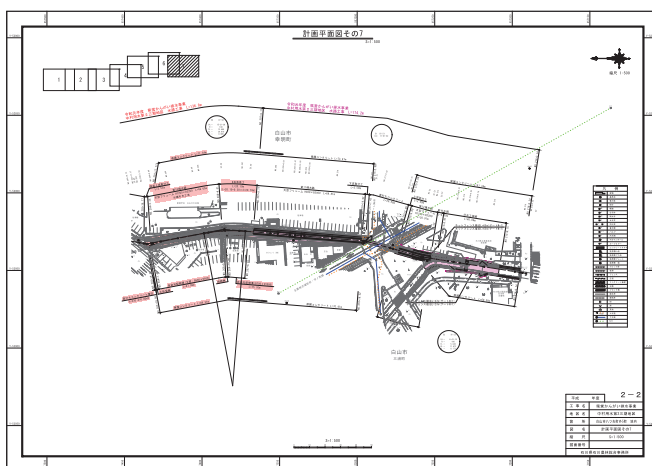
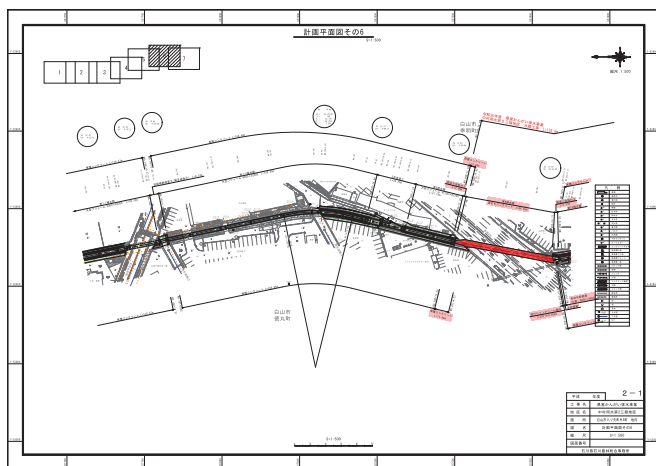
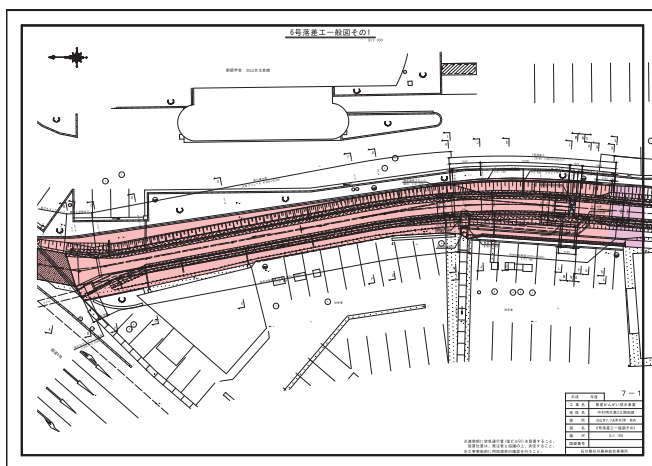
国道8号横断箇所の施工に際して、水路ボックスカルバートの天井スラブから堆積土砂までの離隔が1.0m程度で重機による土砂搬出作業が不能であったため、高圧吸引車及びベルトコンベアを使用し、円滑に工事を進めた。

(出来ばえ)

冬期間の施工のため、現場打ち構造物の施工に際しては、降雪等の悪天候を予測し、予め水路にブルーシートによる養生を行い温度管理の徹底を図るなど、品質・出来ばえ共に良好な状態で工事の完成を迎えることができた。



6号落差工一下流から上流を望む



計画平面図



6号落差工 作業状況—モルタル吹付による法面養生



1次掘削—高圧吸引車による細粒土砂搬出



1次掘削—高圧吸引車による細粒土砂搬出



2次掘削—ベルトコンベアによる玉石、堆積ゴミ搬出



掘削、残土搬出完了 全景

■現場代理人のコメント



現場代理人
中森一彦氏

この度、名誉ある優良建設工事知事表彰を賜り、大変嬉しく、光栄に存じます。担当監督員をはじめとする発注者、近隣住民、協力業者の皆様ほか、工事に携わった全ての方に心より深く感謝とお礼を申し上げます。

本工事は、国道8号線直下を含む施工延長L=137mの水路工事を行うものであり、工事区間全線、両岸にわたって商業施設が隣接し、すべての施工をその商業施設より借地した駐車場敷より行わねばならず、近隣や第三者への配慮、安全対策が最重点課題でありました。

また、国道8号線を斜め横断する水路の堆積土砂V=90m³を、上部離隔1.0mの狭隘な作業環境のもと、1次掘削として高圧吸引車による細粒土砂の搬出、2次掘削として吸引できなかった玉石、堆積ゴミを人力にてベルトコンベアーに積込み搬出する方法にて、早く、安全に作業を進めることができました。

現場着工時、工期内に完成させることができたのか不安でしたが、発注者、協力業者等と試行錯誤、努力を重ね、工期内に苦情トラブル等なく無事に竣工することができました。

今回の受賞を励みに、今後ともさらなる技術の向上に努め、地域の方から感謝していただけるような仕事ができるよう、努力精進してまいりたいと思います。

雇用改善コーナー

工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、若年労働者の人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に就職することが内定し学校長の推薦がある生徒を表彰している。本年度は下記の4名を表彰した。



学校名	羽咋工業高等学校 建設造形科建築コース	羽咋工業高等学校 建設造形科土木コース	翠星高等学校 総合グリーン科学科	小松工業高等学校 建設科
氏 名	南 明穂	南 美里	石田 大我	米林 琢真
内定先企業	(株)表組	加賀建設(株)	北川ヒューテック(株)	北川ヒューテック(株)

情報共有システム学習会の開催

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、株式会社アイサスと共催で、2月3日(水)、22日(月)の両日、金沢市立工業高校、石川県立小松工業高校の2校を対象に情報共有システム学習会を開催した。

学習会は、就職内定者を対象として建設業への理解を深めてもらうことを目的とし、ICTやDXなどの業界の先進的な取り組みについてパソコンを使用しながら学習した。金沢市立工業高校では18名、石川県立小松工業高校では13名が参加した。



地区協会コーナー

森林公園を散策し、健康増進をはかりましょう

河北郡市土建協同組合

津幡町にある石川県森林公園では、園内を散策し健康増進をはかろうと、「森林公園いきいきチャレンジ50」と題したイベントを実施しています。多くの方々が、ウォーキングをしながら四季折々の公園の中で心地よい汗を流しています。

1973年（昭和48年）5月に県政100周年記念事業として開園し、今年の5月には49年目を迎えます。開園50周年を迎える記念イベントとして計画され、令和3年で5年目となります。

公園の面積は1,150ha（津幡園地930ha・三国山園地220ha）、津幡町の中央に位置し、県民の憩いの場・交流の場として親しまれています。また、小中学校の遠足会場として多く利用されるなど、青少年の野外活動に活用され、令和2年は18万人が訪れました。

現在は、石川県指定管理者制度により、森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループが管理と運営を行っています。

このイベントは、当園インフォメーションセンターで参加の申込みをすることで参加スタンプカードが交付され、50回達成ごとにカードが更新されます。50回達成者の先着100名には、賞品と缶バッジがもらえるなどのお楽しみも用意されていて、8時から17時の開園のあいだで自由に歩くことができます。おすすめコースも作られていて、去年は200人近くの方が四季折々の林道、遊歩道を思い思いのコースで自由にウォーキングを楽しんでいます。

イベント参加者は60代以上の方が多く、津幡町、かほく市、内灘町、金沢市と続き、延べ人数で、11,000人が参加しており、年間300回達成者が20人となっています。

「風邪をひかなくなった」「スタンプをもらうことで、励みになる」「歩かないと気持ちが悪い」などの話も聞こえ、健康増進をめざし歩くことが習慣化しているようです。

ご夫婦で、カップルで、お一人で、友達と、ファミリーで、健康増進にチャレンジしてみたらどうですか。

申込みは3月から9月いっぱい毎日受付が可能です。

申し込み・問い合わせ

石川県森林公園インフォメーション TEL 076-288-6449



緑化の広場



林道を散策



最多達成者を表彰

会員リレーコーナー

(207)

東建設株式会社

(所在地：石川県小松市殿町1丁目61)

夢を育て・・・未来を築く!!

総合建設業 土木・曳方工事一式



東建設株式会社

弊社は、昭和24年4月に私の先々代にあたる初代 東 菊治 が、瓦吹き、曳方・揚げ方の技術を習得し創業。その後、土木全般に渡り、昭和28年4月に建設業許可を取得。昭和51年7月には法人化し、公共の道路・河川・下水道工事を中心に精力的に土木工事業に取り組んでまいりました。

二代目 東 久治 においては、地域への貢献、建設業の発展を課題に各奉仕団体、協会を通して幅広く活動させていただき、また、民間の曳方・揚げ方工事の技術も深めてまいりました。

初代、創業の想い、

「技術で、埋もれる価値を“今”に再生させる」その想いは弊社の礎となり、二代目、三代目の私に脈々と受け継がれ、全ての場面において、その価値をより良く活かすにはどうすればよいか。同様に人材においても、各々の持つ個性をいかに活かし、その力量を遺憾なく発揮するにはどうすればよいかと日々考えてまいりました。

現在、この想いに応えるかのように社員一同は各々の個性を輝かせ、自身の得意分野を活かした



現在の社屋

少数精鋭部隊です。また、困難な現場・災害の緊急出動時にも、常に気持ちを一つに戦ってきた掛け替えのない存在であり、私の一番の原動力です。

更に、顧客、取引先からは、

「東さんやし頼みたいんや」

「東さんやし請けたんやわ」

こんな言葉を頂く度に、今までやってきたことは間違っていなかった、想いが信頼へ繋がったと感じています。

高齢化、コロナ禍等、様々な問題に今できることを大切に、次世代へ柔軟に変化し続ける会社でありたい。

初代95歳まで、二代目85歳まで“生涯現役”を貫きました。弊社の就業規則も三年前に定年制度を廃止致しました。先代達のように気力十分に働きたいと思えば力量を存分に発揮して欲しく、その力が若手への刺激となり育成に繋がると自身の経験から思います。

「夢を育て・・・未来を築く!!」二代目考案のキャッチコピーは、建設業の発展を真に願い、厳しい現代にも、温かく希望をもたらすと、使い続けています。

今回は誠和建設株式会社 代表取締役社長 南 由美子さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いします。

(東建設株式会社 代表取締役社長 東 久人)



創業当時の社屋

今月の「輝き！」さん

No. 72



株式会社犀川組 末田 連さん

所 属：工事部
経験年数：10年
年 齢：28歳

金沢市城南2丁目の株式会社犀川組に、今月の輝きさん末田 連さんを訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。

株式会社犀川組は、昭和27年5月に設立され、一般土木工事を中心に事業を展開してきました。近年では、下水道管渠の維持管理工事にも携わり、下水道のメンテナンスをはじめとした地域のインフラ整備に貢献しています。特許を取得した保水・透水性舗装も手掛けています。私は工事部に所属し現場代理人を務めています。

ー出身地、家族、入社の動機等について教えてください。

私は金沢市出身で、現在、金沢市内の自宅で妻と子供の4人で暮らしています。

平成23年3月に金沢市立工業高校土木科を卒業後、伯父が経営する今の会社に入社しました。父も役員を務めており、子供のころからその背中を見て育ったので必然的に今の自分があると思っています。

ー担当している仕事の内容について教えてください。

主に金沢市内の下水道の維持管理工事の現場を担当しています。現在は、金沢駅西地区の下水道管渠の調査業務を行っています。現場調査が終了し、提出書類の作成をしているところです。

ー入社後10年になりますが心に残る現場はありますか？

特に心に残るといった現場はありません。担当したすべての現場にそれぞれ思い出があります。しいて言えば、平成30年の豪雪の際には、現場作業ができず一般道の除雪作業に追われ大変苦労しました。

ーやりがいを感じる時は？

現場管理の仕事は責任の重い仕事ですが、苦労の末に完成した構造物は地域住民の生活や環境を守る重要なものです。こうした社会インフラの整備に係る公共工事に携われることにこの上ないやりがいと誇りを感じます。

ー建設業界の将来について何か思うところがありますか？

将来の担い手となる若者や女性にもっと関心を持ってもらうためには、建設現場のトイレや更衣室等の環境整備をはじめ、長時間労働縮減のための効率的勤務体制導入などの環境整備が必要だと思います。自分たち若手にできることは、SNS等を使って後輩に建設業界の魅力を発信していくことだと思っています。

ー休日の過ごし方等について教えてください。

弊社の会長が海釣りを趣味としていますので、休日には声を掛けて頂き金沢港沖や富山湾での船釣りを楽しむことがあります。大海原で糸を垂れていると無心になれます。最近ゴルフも始めました。緑に囲まれたコースを歩いていると、とてもリフレッシュできます。3歳になる娘と昨年4月には長男も生まれ、今はもっぱら家族サービスです。子供の顔を見ていると仕事の疲れも忘れます。

ー最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は、1級土木施工管理技士の資格を取得することです。少しでも自分のスキルを高め、会社により貢献できればと思います。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協 会 だ よ り

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）の常任理事会は、2月9日(火)正午から、石川県建設総合センターにおいて開催された。

会議に先立ち、石川県土木部監理課大野昌人課長補佐から、一般競争入札における提出書類の簡素化、主観点の評価項目見直し、監理技術者の選任緩和など、発注関係事務に関する改正内容等について説明をいただいた。

常任理事会では、冒頭、平櫻会長が、「新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、医療従事者に負担をかけないためにも、建設業界が一体となって感染拡大防止に努めていかなければならない。当協会も青年委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染防止アクション宣言を発するとともに、コロナ禍で奮闘されている医療従事者に感謝と応援の気持ちを届けることとしたので、役員各位のご協力をお願いしたい。」と挨拶。続いて、事務局から下記の議題について報告・説明がなされた。



常任理事会会場

〈議題〉

1. 北陸地方整備局との意見交換会について
2. 北陸地方整備局第3次補正予算の概要について
3. コロナ対策の徹底と医療従事者への応援について
4. 除雪オペレーター資格取得について
5. ICT 建設機械の普及に向けた補助制度等について
6. 足立としゆきを後援する会「建設ゆめクラブ」への入会について
7. 建設業をめぐる最近の話題について
8. 会員受注高調べについて
9. 今後の主な日程について
10. 地区協会からの報告について
11. その他



石川県土木部監理課課長補佐
大野昌人氏

委 員 会 の 開 催

土木委員会

◎金沢河川国道事務所との意見交換会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、2月10日（水）、ANAクラウンプラザホテル金沢において、国土交通省所管の工事について金沢河川国道事務所との意見交換会を開催した。意見交換会には、金沢河川国道事務所より事務所の近藤勝俊氏、副所長の万行康文氏、尾崎 誠氏、工事品質管理官の谷口雄一氏の4名の方々に出席をいただき、県協会から鶴山副会長、土木委員会からは竹腰委員長をはじめとする39名の委員と事務局が出席した。

冒頭に竹腰委員長の挨拶の後、事務所の近藤勝俊氏より「直轄事業に関する最近の話題について」と題して、①公共事業予算、②主要事業（河川・砂防・海岸・道路）、③トピックス（河川整備に関する新たな取組み、防災・減災、国土強靱化に向けた取組み、建設現場における週休2日の取組み、冬期交通確保）などについてご講演をいただいた。

意見交換会では、土木委員会より①入札・契約関係（3議題）、②総合評価関係（1議題）、③設計・積算関係（2議題）、④施工関係（2議題）、⑤監督・検査関係（2議題）の10議題について、当委員会の役員から要望や提案事項の趣旨説明の後、金沢河川国道事務所からの回答を受ける一問一答方式により、各委員と発注者の双方による活発な意見交換が行われ、林副委員長の挨拶で閉会した。



近藤事務所長による講演



意見交換会



質疑状況

建築委員会**◎第1回技術部会の開催**

技術部会（部会長 本田正敏）は、2月19日（金）、石川県建設総合センターで部会員9名の参加にて開催された。

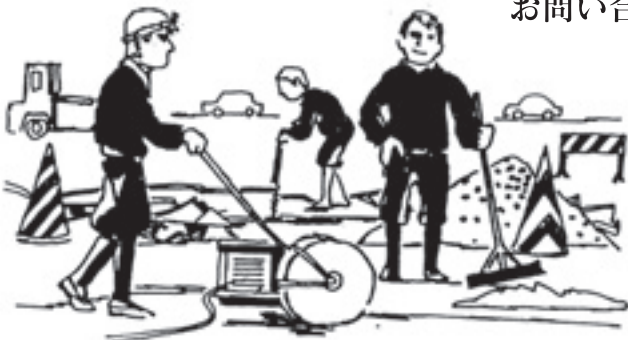
本田部会長の挨拶の後、事務局より、県発注工事の現場実態調査と工事費実態調査を行うこととし、今年度調査対象事業は、平成29・30・令和元・2年度の県発注建築大型工事（概ね1億円以上の建築工事）の中で今年度中に完成する9件になると報告され、これらを調査対象とすることが承認された。

また、調査報告の提出時期を3月中旬とし、その後、第2回技術部会を3月26日（金）に開催し調査結果を取りまとめることも決定した。

さらに、情報共有システムについても情報交換が行われ、国発注工事で全面的に使用されていることや、今年度2件の県発注工事で試験的に活用されていることから、次回の部会で使用状況をヒヤリングすることも決定された。表副部会長の挨拶で閉会した。

**不慮の災害事故発生にそなえて****全建協連総合補償制度
自動車保険**

お問い合わせは・・・・・・・・

**石川県総合建設業協同組合**

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

土地改良委員会

◎県農林水産部との意見交換会の開催

技術検討部会（部会長 小柳 誠）は、2月19日（金）、金沢ニューグランドホテルにおいて、県農林水産部から、農林技術管理室の川崎智之室長、池田千也担当課長、上原良太専門員、農業基盤課の池田俊文担当課長に出席いただき、意見交換会を開催した。



冒頭、小柳部会長の開会挨拶と川崎室長の挨拶の後、県から「農業農村整備事業関係令和3年度予算の概要」及び「制度改正等」について説明をいただいた。

その後、技術検討部会から、区画整理工事を中心に施工実態を反映した重機選定や一層の条件明示等の意見や要望事項①適切な積算・歩掛（4件）、②適切な仮設費の計上（2件）、③入札・契約（7件）、④契約変更（3件）、⑤工期（1件）、⑥調査（1件）、⑦予算（1件）の計7項目（19件）について趣旨説明の後、県からの回答を受けて、今後の方針や対応などについて意見交換を行った。

広報・研修委員会

◎企画部会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）の企画部会は、2月12日（金）午前10時30分から、石川県建設総合センターにおいて開催された。

冒頭、高田委員長の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告が行われた。



1 協会報3月号について

事務局から、協会報3月号の編集計画が示され承認された。

2 研修所からのお知らせ

令和3年度新入社員研修について報告がなされた。

3 その他

「QRコード」の活用など対外向け広報力の強化、並びに協会のグループウェアの利用徹底等について意見交換が行われた。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和2年度 「私たちの主張」応募作品の紹介 「今後の建設業」

株式会社吉光組 西出 輝

私は、高校卒業後に株式会社吉光組に入社しました。現在、建築部門で4年目になりますが、やっと少し現場の流れを読むことができるようになりました。

建設業は、昔から言われている3Kの他にも、自然に左右され工期がない、休みが他業種に比べて圧倒的に少ない等、若者に思われていると思います。

私の父親も自営で建設業をしていたため、小さい頃から土曜日も日曜日も仕事に出かける姿を見てきたので大変なのだと思っていました。

しかし実際に就職して感じたことは、想像していたより3Kがないこと、多少の休日出勤はあるが休みもしっかり取れるのだということでした。このような会社もあるのだということを、今の若手がこれからの若者に知ってもらうことで未来の建設業に若者が増えるのではないかと考えています。

現場をする上で感じることは、現場の中盤の最盛期に呼ばれ、最後まで見ることがなくまた次の現場で中盤の仕事をするが多かったため、いざ現場を一人でする時に分からず、辛い想いをしたことです。同じようなことを建設業にいる他の友達からも聞きました。会社の都合もあると思いますが、若手は最初から最後まで先輩の下で現場を見せてもらえるような体制になればいいと思います。

今の建設業で良いと思っていることは、最近になって3D関連の活用が増えていることです。入社当初はまだ完成のイメージがつかないことが多く、図面を見てもややこしいことが多かったことを覚えています。土木ではICT技術が多く使われていますが、建築の方は全く使われていなかったので結構困りました。ですが、最近になって建築にも3Dの活用が増え、去年施工した現場では、初めて完成パースを見ることができたり、木造でしたので軸組パースにより打ち合わせをしたりしました。その結果、現場で後戻りをするのがなく職人もスムーズに施工できると言っていたので、3Dの活用はすごいと思いました。

現場の完成が分かれば私たちも職人もイメージがしやすく、打ち合わせが簡単にできることが3Dの利点ではないかと考えています。

今後、3Dが増えていけば、私のような図面を見てもイメージができない人でも簡単にイメージができるようになり、現場の流れがつかみやすいのではないかと思います。これからの現場でもパースの利用を増やして、新しく入ってくる新入社員にも3Dの利便性を知ってもらいたいと思います。そのためには、建設業全般で3Dの活用を積極的に行うことが必要になると思います。

以上、建設業は変わってきているという事を発信していくことが大切になるのではないかと考えています。

業 界 時 報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和3年分）

令和3年1月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	3	2	6	(1) 5	50
小松監督署					2	7
七尾監督署					1	1
穴水監督署					1	2
計	1	3	2	6	(1) 9	60
前年同期	5	(1) 3	1	(1) 9		49

() 内は木建工事 ○内は死亡者数

令和2年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
11月分	85	139	61.2%	1,497	1,921	77.9%	1,582	2,060	76.8%
12月分	110	183	60.1%	1,033	1,089	94.9%	1,143	1,272	89.9%
1 月分	73	103	70.9%	1,011	2,384	42.4%	1,084	2,487	43.6%
年度累計	1,575	2,493	63.2%	14,061	22,032	63.8%	15,636	24,525	63.8%
30年度累計		2,658	59.3%		21,088	66.7%		23,746	65.8%
29年度累計		3,479	45.3%		24,592	57.2%		28,071	55.7%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
11月分	2,457	3,538	69.4%	6,665	496	1,343.8%	9,122	4,034	226.1%
12月分	2,493	3,552	70.2%	1,194	1,853	64.4%	3,687	5,405	68.2%
1 月分	4,392	2,217	198.1%	101	1,427	7.1%	4,493	3,644	123.3%
年度累計	38,723	39,255	98.6%	22,337	14,225	157.0%	61,060	53,480	114.2%
30年度累計		33,502	115.6%		9,782	228.3%		43,284	141.1%
29年度累計		31,644	122.4%		17,638	126.6%		49,282	123.9%

合 計（民間＋官公庁）

	令和2年度	令和元年度	%		令和2年度	令和元年度	%
11月分	10,704	6,094	175.6%	年度累計	76,696	78,005	98.3%
12月分	4,830	6,677	72.3%	30年度累計		67,030	114.4%
1 月分	5,577	6,131	91.0%	29年度累計		77,353	99.2%

会 員 の 異 動

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出をお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和3年3月行事予定

- 3月 1日(月) 土地改良委員会 第3回役員会
4日(木) 翠星高校生との意見交換会 (翠星高校)
正副会長会議
キャリアアップシステム取扱業務に係る説明会
(リモート会議)
5日(金) 石川県共同募金会 配分委員会 (石川県社会福祉会館)
金沢港振興協会 第2回理事会 (金沢ニューグランドホテル)
建設業振興基金 金融事業説明会(リモート会議)
8日(月) 災害協定に基づく防災訓練班長会議
9日(火) JCMセミナー
建築委員会 環境住宅部会
10日(水) 全建 労働委員会 (リモート会議)
全国建産連 総務委員会 (リモート会議)
12日(金) 建築委員会 加賀地区安全パトロール (いしかわ動物園)
産業廃棄物講習会
14日(日) 建設業経理検定試験
16日(火) 安全・環境対策特別委員会 正副委員長会議
17日(水) 女性部会 幹事会 (リモート会議)
18日(木) 会報編集委員会
建設業労働災害防止協会 常任理事会・理事会 (リモート会議)
19日(金) 広報・研修委員会 企画部会
担い手確保・育成等特別委員会
22日(月) 石川県景観審議会 (石川県庁)
24日(水) 耐震評定委員会 (石川県建築士事務所協会)
25日(木) 全国土木施工管理技士会連合会 定時理事会 (リモート会議)
26日(金) 石川県土木部との意見交換会 (石川県庁)
建築委員会 技術部会
29日(月) 土地改良委員会 第3回技術検討部会

令和3年4月以降の行事予定

- 4月 5日(月) 正副会長会議
常任理事会
6日(火) 新入社員研修 (～7日)
9日(金) 土木委員会 役員会
30日(金) 正副会長会議
5月11日(火) 組合・協会 理事会
18日(火) 全建協連 総会 (東京 学士会館)
27日(木) 組合・協会 総会
6月 4日(金) 正副会長会議
常任理事会
8日(火) 全建 総会 (東京 経団連会館)
11日(金) 測量コンテスト (予備日：18日)
(金沢ものづくり会館)
23日(水) 全建協連 専務・事務局長会議
7月 5日(月) 正副会長会議
13日(火) 全建 社会貢献活動中央行事 (東京 経団連会館)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
③協会報の発行 毎月1日発行 (毎月10日前後納入、会員送付)
④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

会 員 の 異 動

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出をお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和3年3月行事予定

- 3月 1日(月) 土地改良委員会 第3回役員会
 4日(木) 翠星高校生との意見交換会 (翠星高校)
 正副会長会議
 キャリアアップシステム取扱業務に係る説明会
 (リモート会議)
 5日(金) 石川県共同募金会 配分委員会
 (石川県社会福祉会館)
 金沢港振興協会 第2回理事会
 (金沢ニューグランドホテル)
 建設業振興基金 金融事業説明会(リモート会議)
 8日(月) 災害協定に基づく防災訓練班長会議
 9日(火) JCMセミナー
 建築委員会 環境住宅部会
 10日(水) 全建 労働委員会 (リモート会議)
 全国建産連 総務委員会 (リモート会議)
 12日(金) 建築委員会 加賀地区安全パトロール
 (いしかわ動物園)
 産業廃棄物講習会
 14日(日) 建設業経理検定試験
 16日(火) 安全・環境対策特別委員会 正副委員長会議
 17日(水) 女性部会 幹事会 (リモート会議)
 18日(木) 会報編集委員会
 建設業労働災害防止協会 常任理事会・理事会
 (リモート会議)
 19日(金) 広報・研修委員会 企画部会
 担い手確保・育成等特別委員会
 22日(月) 石川県景観審議会 (石川県庁)
 24日(水) 耐震評定委員会 (石川県建築士事務所協会)
 25日(木) 全国土木施工管理技士会連合会 定時理事会
 (リモート会議)
 26日(金) 石川県土木部との意見交換会 (石川県庁)
 建築委員会 技術部会
 29日(月) 土地改良委員会 第3回技術検討部会

令和3年4月以降の行事予定

- 4月 5日(月) 正副会長会議
 常任理事会
 6日(火) 新入社員研修 (～7日)
 9日(金) 土木委員会 役員会
 30日(金) 正副会長会議
 5月11日(火) 組合・協会 理事会
 18日(火) 全建協連 総会 (東京 学士会館)
 27日(木) 組合・協会 総会
 6月 4日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 8日(火) 全建 総会 (東京 経団連会館)
 11日(金) 測量コンテスト (予備日：18日)
 (金沢ものづくり会館)
 23日(水) 全建協連 専務・事務局長会議
 7月 5日(月) 正副会長会議
 13日(火) 全建 社会貢献活動中央行事
 (東京 経団連会館)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(水) 災害時体制正副班長会議
5日(金) 献血奉仕活動
青年委員会：情報発信セクション
10日(水) 役員：常任理事会
組合：理事会
協会：理事会
17日(水) 青年委員会：技術防災セクション
18日(木) 土木部会：舗装委員会
監理技術者講習
19日(金) 土木部会：安全対策委員会
23日(火) 未来への扉「工事看板イメージコンテスト
応募作品審査」
24日(水) 青年委員会：幹事会
土木部会：環境・情報委員会
25日(木) 入札・契約制度等説明会
26日(金) 土木部会：施工管理委員会

《お知らせ》

- 4月 7日(水) まちなか協働パトロール 出発式
23日(金) 第1回技術社員研修会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(水) 建災防加賀分会 安全パトロール
中旬 総務企画委員会
下旬 役員会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(水) 県建設会 幹事会
14日(日) こまつ水辺クリーンデー参加協力
下旬 理事会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 3月 2日(火) 献血活動
4日(木) 翠星高校との意見交換会について
22日(月) 役員会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(水) 土木部会 役員会（リモート会議）
4日(木) 監理技術者講習会
23日(火) 理事会
24日(水) 県管理河川の堤防・護岸点検パトロール

《お知らせ》

- 4月20日(火) 監事会
22日(木) 理事会
5月19日(水) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 3月下旬 理事会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 3月下旬 奥能登土木委員会 役員会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 3月12日(金) 工事現場安全パトロール
23日(火) 理事会
下旬 奥能登土木委員会 役員会